

信濃美術館整備に関する関係者の主な意見（1/2）

| 検討項目 | | 信濃美術館職員アンケート (H27.4) | 信濃美術館協議会 (H27.5.25) | 美術館関係者等との意見交換会 (H27.6.7) | 北信美術会 (H27.8.21、10.20) | 長野A&D研究会 (H27.10.8) |
|------|--------|--|--|---|---|---|
| 1 | 利用者の視点 | <ul style="list-style-type: none"> ○身障者用設備(トイレ、EV等)の充実 ○展示室以外の充実(図書コーナー、子どもの広場、会議室等) ○ホール、ステージ等のイベントやパフォーマンスができるスペースの確保 ○授乳室等の設置 ○作品管理の冷房を活かしたクールシェアの場の提供 ○十分なスペースの駐車場 | <ul style="list-style-type: none"> ○県民ギャラリー的なものと新しいジョイント関係を構築すべき ○県民ギャラリー的スペースを県内各地の表現者の交流の場とする ○年配者を対象とした「友の会」の設置が必要 ○公園の延長のような美術館敷地内に無料で鑑賞・体験できる作品がほしい ○南信の県民も誇りを持てる施設(南北のかけ橋)になってほしい ○美術館の教育的役割の充実、強化 ○調査学習や制作研修のできる学習室の設置が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ○美術に関心のない学生も、イベントや講演会、上映会等があれば来館する ○いけばな展等の開催可能な施設にしてほしい ○小中学生が積極的に作品に触れていく場所、作品鑑賞の機会をつくってほしい ○若者が訪れるためにはアーカイブや案内看板の整備等が必要 ○カフェレストランの充実。粉物食など信州らしい食文化や有名シェフはどうか ○県民ギャラリーなど利用しやすい仕組みづくりが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ○北信展、県展ができる規模を確保してほしい ○常設、企画展スペースとは分離させた貸館スペースの確保 ○図書室、メディアルーム等のある多目的に使える建物にする ○個展、グループ展ができること。仕切り可能な構造にしてほしい ○高齢者、障がい者に配慮した建物にしてほしい ○美術団体は展覧会場確保で苦勞している。約900mの壁面が必要 | --- |
| 2 | 管理・運営 | <ul style="list-style-type: none"> ○プロパー職員の増員、運営費増による安定した運営と調査研究の充実 ○バックヤード(収蔵庫等)の充実や展示室の安全性 ○文献調査ができる研究書籍の充実 ○文化財レスキューのための施設と専門職員の確保 ○信州の文化芸術(県内美術館、信州ゆかりの作家など)の情報の管理・保全機能が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ○館長、学芸員の専門性が重要、育てる環境が必要 ○学芸員の補充、充実が必要 ○文化芸術の発展のため、着実に計画・実行する人材が不可欠 ○展覧会を招致する館長・学芸員の専門性と出品交渉力が必要 ○所蔵作品や関連作家の研究を展覧会に反映させる ○県内の美術館の中心的な働きを期待する ○世界の作家のネットワークの中心として機能する ○信濃美術館の抜本的、根本的改革を期待する | <ul style="list-style-type: none"> ○県内美術館の多くは1～2名の学芸員で全てを行っているため、各自の行う勉強も限られる ○県立の学芸員に頼りたい気持ちがある。県内学芸員のボトムアップを希望する ○開館時に3名の学芸員では大変なので、人材を今から育成すべき ○学芸員を大切にす、人に重きを置いた整備を望む | <ul style="list-style-type: none"> ○学芸員の充実は極めて重要であるが、指定管理制度も含めて、運営主体をどうするのか要検討である ○美術館は、人によって活かされる | --- |
| 3 | 建物・立地 | <ul style="list-style-type: none"> ○平屋、2階以下の低層の建物が望ましい ○メディアアートなど現代の様々な作品に対応可能な施設 ○善光寺や公園から入りやすいルートの設定 ○周辺の景観を活かした、来訪者をとり込む施設 | <ul style="list-style-type: none"> ○善光寺から城山公園までの動線をいかに引っ張るかが大切 ○東山魁夷の絵画作品のような庭園を造ってはどうか ○景観を損ねず、親しまれ、門前町に似合うデザインにしてほしい ○善光寺につながる公園的な緑地の中を周遊して巡る低い建物が理想 | <ul style="list-style-type: none"> ○本館は建築的に優れており、機能回復して残してほしい ○箱物だけをつくる時代ではない。地域全体を美術館とする「場」づくりをしてほしい ○善光寺の隣りであり、ハードは精神性の高いものが望ましい ○美術館の外側も美術館。山や川、ロックライミングの壁等あればファミリー層が訪れる ○善光寺から美術館が見えず、植栽も含めたデザインが必要 ○都市計画として、道路、駐車場、公園施設も含めたランドデザインを考えるべき | <ul style="list-style-type: none"> ○公園と一体化した美術館にすること ○周りの山々やその風景も含めて鑑賞できる美術館としてほしい ○自然の美は誰でも受け入れやすい原点のようなもの | <ul style="list-style-type: none"> ○新美術館と公園周辺整備による常設の集客施設が生まれることを期待 |
| 4 | 広域集客 | <ul style="list-style-type: none"> ○美術館の基本的機能は3K(鑑賞・交流・観光) ○門前町長野市とのまちづくり等での連携・協調 ○国立美術館周辺のようなイベントによる賑わい創出、観光振興 | <ul style="list-style-type: none"> ○美術館の核は作品。世界的な視点の先見性をもったコレクションの構築を進めるべき ○東山魁夷がどれだけ魅力があるのか検証すべき ○年代を越え先進的で若々しくエネルギーのある発信と企画に期待 ○広報力を強化して、全国に対して発信していく | <ul style="list-style-type: none"> ○訪れた後、庭園、コレクションなど何か心に残るものを考えてほしい ○常設展示を中心に考え、貸与スペースを大きくすべき ○中央の公募展が巡回できる大型施設が望ましい ○ファインアートだけでなくデザインの視点も考えてほしい ○テーマパーク的なものだけでは疑問。本物をみせる施設であるべき ○信州の美しい自然、気候、風土、東山コレクションで十分でないか ○美術は生きていることを伝え現在活躍している作家にスポットをあてるべき ○公民館活動とかぶる部分がある。企画の棲み分けを考えるべき ○大人がリードしていく大人の文化の創出を考えるべき | <ul style="list-style-type: none"> ○中央の公募展の巡回展ができるようにしてほしい ○郷土作家の作品収蔵と展示 ○世界的に有名な作家の作品収蔵と展示 ○美術文化のシンボルの存在 ○世界を視野に、国内外の観光客をどう誘客するか | <ul style="list-style-type: none"> ○新美術館に県内の地場産業のあらゆる産業デザインに役立てる「デザインミュージアム」を誘致したい |

信濃美術館整備に関する関係者の主な意見（2/2）

| 検討項目 | | 高校生アンケート・意見交換会 (H27.5～6) | 中学生アンケート (H27.5～6) ※3年生分のみ | 意見公募 (H27.7.6～8.21) | |
|------|--------|--|--|--|--|
| 1 | 利用者の視点 | <ul style="list-style-type: none"> ○堅苦しくなく楽しい雰囲気のある美術館 ○小さな子どもも楽しめる子どもの遊び場が必要 ○幅広い年齢層、どんな国の人も楽しめる、椅子やベンチを多くする ○学習室などがあれば気軽に立ち寄れる ○本格的なレストランがほしい ○入場料を無料にしてほしい ○若者のアートプロジェクトを支援してくれる美術館 ○いろいろな分野の知識を得られる美術館 ○若い芸術家を知ることができる美術館 ○展示室を多くしてほしい。(小さくともよい) ○展示を一週りで見ることでできる展示室の配置してほしい ○庭にもアートの展示があれば楽しい ○自由に触ったりできる美術作品の展示 | <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな体験ができて楽しい場所、肌など五感で感じることもできる ○芸術家が絵を描いているところを見ることができるといい美術館 ○広くて、親やすい美術館 ○作品を身近に感じることのできる美術館 ○一日中いても飽きない充実した設備や企画内容がほしい ○幼児から老人まで気軽に楽しめる、誰でも行きやすい美術館 ○静かで落ち着いた居心地の良い美術館 ○カフェ、レストランなどがあり、きれいな美術館 ○トイレがきれいで清潔な美術館 ○外にもアートがあり、明るい感じにしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ○金沢 21 世紀美術館のように、美術館の概念を取り払い、気軽にだれでも立ち寄れる美術館が必要 ○開かれた美術館をつくるのが重要 ○ワークショップや講演を行うアトリエ(外から見える) ○子どもたちが体験し、学べるワークショップが大切 ○オシャレでオリジナルなカフェ、レストランが必要 ○カフェやレストランが近くにあることで美術に関心を持つ疑問 ○館内に無料で鑑賞や体験ができるスペース、周辺にはゴロゴロしたくなる場所が必要 ○視覚障害者にも楽しめる工夫を願う。①点字リーフレット、②音声ガイド、③3Dプリンターを使った企画展、④トイレの音声案内、⑤HP、⑥職員教育、⑦ボランティアの養成・常駐等 ○託児施設の設置 ○夜9時まで開館する夜の美術館 ○気軽に寄れる勉強作業スペースの設置 ○善光寺と信州の美伝承館、産業デザイン館、衣食住デザイン館の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ○「県民がいかに沢山利用できるか」が大切。「県民ギャラリー」は重要な要素 ○世界的に有名なキュレーターを招いて、企画、展示、運用など一流のものにしてほしい。芸術家の創作活動スペースを設け、見学ができるようにする ○常時、一般公開しているアーティストの制作場が必要 ○大学と連携し、芸術家志望の学生が発表できる場を作ってほしい |
| 2 | 管理・運営 | --- | --- | <ul style="list-style-type: none"> ○アートを気軽に感じられるもの。ロゴやサイン計画 ○これらが実現されたらすごい、主導する機関は何処になるのか？学芸員の守備範囲には限界がある” ○国内外の美術館と交流協定を結び人材交流の活発化 ○海外要人を信濃美術館の迎賓館で対応し、外国語が堪能な県職員を配置 ○周辺環境と美術館が最高のランドスケープをつくり、人が集うようにするため、有名建築家審査員のもと、コンペで設計者を選ぶべき | |
| 3 | 建物・立地 | <ul style="list-style-type: none"> ○建物自体が芸術となる美術館 ○和風な善光寺となじむもの。和の景観の建物 ○建物を見て興味がわく、目を引く外館 ○デザイン性のある明るいお洒落な美術館 ○絵の展示だけでなく、雰囲気もほしい ○入りやすい雰囲気のある明るい美術館 ○庭をつくってほしい、自然あふれる美術館 ○環境にやさしい美術館 | <ul style="list-style-type: none"> ○外からみて面白いデザイン、人目を引くデザイン ○建物がきれいで開放感のあるデザイン ○建物自体を作品にしてほしい、建物だけでも芸術的なもの ○見ただけで「ここに行きたい」と思う建物 ○植物がたくさんある美術館、美しい庭のある美術館 ○活気のない長野に新たなイベント施設を作るつもりでやってほしい ○長野にしかない誇れる施設を作してほしい | <ul style="list-style-type: none"> ○林昌二氏の建物自体は少し弱い気がする ○長野駅と善光寺をつなぐ施設を、中間地点(門前ぶらざ)を再開発し建設すべき ○善光寺下駅や中央通りからの動線明示や誘客が必要 ○駅前エリアと善光寺エリアの分断が問題。トイゴウエストやセントラルスクエア等の中間エリアに、分館を設置すべき ○展示室や収蔵庫のスペースが狭く、バリアフリー化も進んでいないので建替えが必要 ○「まち」の賑わい創出や、周辺と一体化した景観形成・街づくりを美術館事業の目玉としているのか、それとも美術館の文化芸術活動によって結果的につくられていくものか ○旧蔵春閣辺りまで拡張して、市内を一望できる施設とする | <ul style="list-style-type: none"> ○善光寺からの回遊性を考慮し、無散水施設を有する遊歩道を整備する ○市内循環バスぐるりん号のルートに組み入れる ○景観と調和させる必要があるが、善光寺とは調和させる必要なし。いつまでも善光寺に頼ってはいけけない ○世界遺産登録を目指している「善光寺と門前町」ゾーンに隣接している ので、世界遺産登録とリンクして、歴史館の分館とする ○建物と周辺の雰囲気に常に観光名所になるような集客力が必要 ○長野市と協力し、信濃美術館とその周辺一帯を整備してほしい |
| 4 | 広域集客 | <ul style="list-style-type: none"> ○子どもから大人まで楽しめる様々なジャンルの展示 | <ul style="list-style-type: none"> ○もっと宣伝して多くの人々が訪れるようにしてほしい ○たくさんの人に来てもらうため駐車場を大きくしてほしい ○絵の展示位置をもう少し低くしてほしい ○いろいろな分野の美術系の作品を置いてほしい ○有名な物や誰でも楽しめるものの展示 ○いろいろな展示会、体験があればよい | <ul style="list-style-type: none"> ○コンセプトづくりにより時間をかけるべき ○明確なビジョン、コンセプトを持った美術館となしてほしい ○「現代を生きて変化する美術館」をコンセプトに加えてほしい。美術館は「静的」なものだけでなく、「動的」なものでありたい ○善光寺に来た人を美術館に呼び込むため、美術館の賑わいを外へ発信できる仕組みが必要 ○屋外広場では、クラフトフェアを開催し、地域の賑わいを創出する ○アーティスト・イン・レジデンス事業は、他の地域の活性化の方途としてとらえたほうがよい ○松本市美術館と連携してほしい。東西南北に割れがちなイメージのある長野県で、展示協力して知的文化芸術県をめざしてほしい ○質の高い保存環境と十分なスペースを希望する ○県内の他の美術館とのネットワーク拠点となり、戦略的に国内外に発信 ○新美術館を飯山市に新設。雪を素材とした作品を制作する、世界で唯一の美術館とする。越後妻有トリエンナーレの玄関口とする ○産業活性化に寄与する美術・デザインの振興 ○コレクションは、県の特色を持たせたものを収集すべき ○評価の定まらない作品を収集することも、無名作家を掘り出す意味があるが、リスクも覚悟しなければならない | |